



Think Automation and beyond...

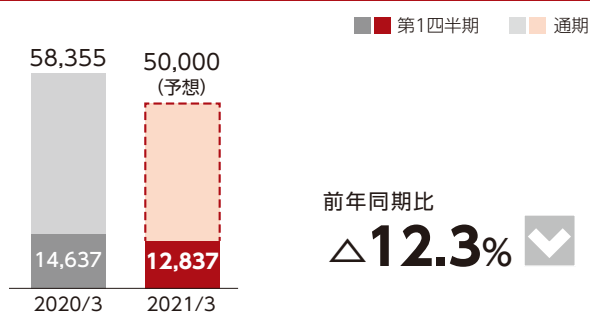
IDEC株式会社 第74期 株主通信

第1四半期 (2020年4月1日~2020年6月30日)

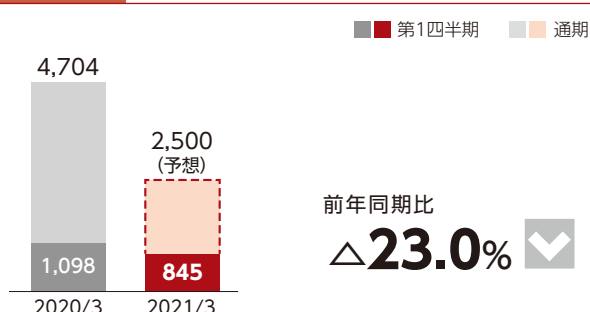


財務ハイライト

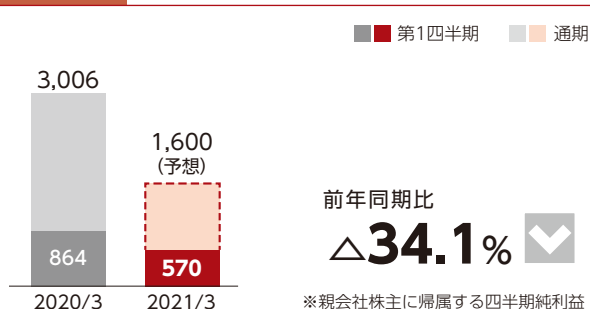
売上高 **12,837**百万円



営業利益 **845**百万円



四半期利益※ **570**百万円



Top Message

株主の皆さまへ

当第1四半期の業績は、新型コロナウイルスの感染拡大による全世界的な経済の低迷の影響を受けて、主要顧客である製造業の設備投資需要が、デジタル機器や半導体関連業界の一部を除き極めて低調に推移しました。

このような状況の中、日本では自動車や工作機械、ロボット業界における需要が大幅に減少したことで、主力のスイッチ事業やオートメーション事業／センシング事業を中心に売上が減少しました。海外においては、中国の需要が回復したものの、米州やEMEAにおいて大幅に売上が減少しました。この結果、売上高は128億3千7百万円（前年同期比12.3%減）となりました。

営業利益は、売上が減少したことなどにより8億4千5百万円（前年同期比23.0%減）、四半期純利益は5億7千万円（前年同期比34.1%減）となりました。

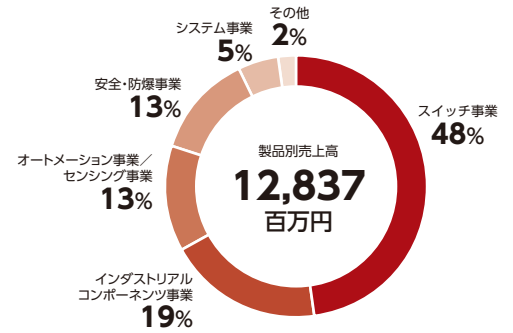
世界経済は先行き不透明な状況が続いておりますが、通期計画の達成に向けて全社一丸となって取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長

舩木俊之

業績ハイライト

中国の需要回復による売上増があったものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、日本を含む各地域において、スイッチ事業やオートメーション事業／センシング事業を中心に総じて売上が減少しました。



製品別売上

スイッチ事業

制御用操作スイッチ／ジョイスティック／表示灯など



売上高 6,203 百万円 前年同期比 △12.5%

工業用コンポーネンツ事業

制御用リレー／端子台／スイッチング電源など



売上高 2,491 百万円 前年同期比 △3.2%

オートメーション事業／センシング事業

プログラマブルコントローラ／プログラマブル表示器／自動認識機器など



売上高 1,629 百万円 前年同期比 △22.8%

安全・防爆事業

安全関連機器／防爆関連機器など



売上高 1,595 百万円 前年同期比 +0.7%

システム事業

セキュリティシステム／各種システムなど



売上高 684 百万円 前年同期比 +12.1%

その他

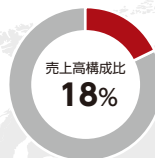
協調安全ロボットシステム事業／環境・エネルギー関連事業など



売上高 234 百万円 前年同期比 △64.8%

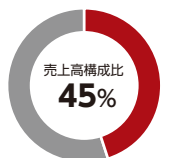
エリア別売上

EMEA (欧州、中東、アフリカ)



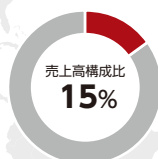
売上高 2,257 百万円 前年同期比 △22.9%

日本



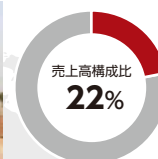
売上高 5,732 百万円 前年同期比 △13.8%

米州



売上高 1,971 百万円 前年同期比 △18.0%

アジア・パシフィック



売上高 2,876 百万円 前年同期比 +8.2%

IDECの安全・安心テクノロジー

トンネル工事現場の安全支援システムとして採用されました。

建設現場の安全管理は難しく、特にトンネル工事現場のような人と大型の建設機械の混在する作業では、作業員と工事用重機が接触することで、重篤な労働災害が発生することがあります。このリスクに対しIDECは、「協調安全/Safety2.0*」のコンセプトをもとにIoT技術を活用することで、人と重機の接触リスクを大きく低減させることができるシステムを清水建設株式会社様にご提案し、採用いただきました。

※人とモノと環境が協調することで人と機械の共存領域の安全を高く保つ次世代の安全思想

従来の工事現場では、主に現場監視員による入場制限や、作業員同士の合図など、人に依存する方法で安全を確保する方法が一般的でしたが、IDECが開発したシステムを導入いただくことで、生産性と安全性を両立することが可能となりました。また今回導入いただいた2つのシステムは、一般社団法人セーフティグローバル推進機構がスキームオーナーとして制度設計を行っているSafety2.0適合審査登録制度において、Safety2.0適合登録を受けております。

今後も、安全性と生産性を両立できる多様なソリューションの提案を行うことで、「世界一安全・安心を追求・実現する企業」を目指してまいります。

子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION
清水建設



IDECの安全システムを導入した工事現場

1 トンネル内作業員および車両の位置検出システム

Safety 2.0

作業員と工事車両などの重機にビーコンと呼ばれる微弱電波発信機を取り付け、各所に設置されたアンテナで受信される電波強度により位置情報を管理します。

危険源である重機と人との接触リスクが高まった場合は、作業エリア内に光と音で警報を発します。



※切羽エリア:トンネル採削の最先端の部分

2 工事車両／重機の動作表示システム

Safety 2.0

工事用重機の移動動作情報を、重機に設置した高輝度LEDの点滅によって、他の重機や作業員へのメッセージとして発信します。



トピックス

第73期定時株主総会を実施しました。

大阪本社にて、2020年6月26日に第73期定時株主総会を開催いたしました。
新型コロナウイルス感染予防対策のため、ご出席いただいた株主さまにはサーモグラフィーカメラによる検温とマスク着用にご協力いただき、ソーシャルディスタンスを確保してご着席いただきました。
株主の皆さまにおかれましては、議決権の行使にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。



招集ご通知

IDECグループのCSR



IDECグループでは、安全の普及と、持続可能な社会の実現への貢献をCSR活動の2つの重点課題とし、企業の社会的責任を果たすための取り組みを積極的に推進しています。

第2回「プラチナキャリア・アワード」で東洋経済賞を受賞しました！

東洋経済新報社が創設した第2回「プラチナキャリア・アワード」において、東洋経済賞を受賞しました。IDECでは社員のウェルビーイング※向上のために、働きやすい職場環境づくりを推進しており、子育て、介護、通院、ボランティア活動など、社員の多様なライフスタイルをサポートするための「ライフサポート休暇」の導入や、転身支援制度の整備、50代の社員に向けた「ライフプランセミナー」の実施等の取り組みが評価されました。



※個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念(厚生労働省HPより)

海外でもさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

フランスに本社があるグループ会社のAPEM社では、フランスやスウェーデンで紙のリサイクル活動を実施しています。また英国や米国では、新型コロナウイルスに対する社会貢献も行っており、小児病院へのマスクの寄付や、貧困世帯への食糧支援などを実施しました。

今後もIDECグループは、海外のグループ会社と情報を共有しながら、社会貢献活動に積極的に取り組んでいきます。



紙のリサイクル活動



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社証券代行部
お問い合わせ先	☎ 0120-782-031 (受付時間 9:00~17:00 土日祝日を除く)
公告の方法	電子公告により行います。 http://jp.idec.com/ja/aboutIDEC/ir/stockholder_info ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

●株主さまの住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。